

中間評価の進め方

1. 背景・目的

(1) 行動計画改訂版の趣旨

- ・「尼崎 21 世紀の森構想」の理念を具体化するため、平成 16 年度に「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画」、平成 28 年度に「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画(改訂版)」が尼崎 21 世紀の森づくり協議会により策定された。
- ・そこで、「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画(改訂版)」に係る事業及び各取組の成果と課題を整理するなど、「尼崎 21 世紀の森づくり行動計画(改訂版)」の中間年評価を行い、計画推進に向けて検討方策や具体例等を検討する。

(2) 行動計画改訂版の取組状況の評価（詳細は P2～13 参照）

4 つの取組方針に基づく 168 の取組を以下の通り、○△×で実施した。

- ：取組が順調に進んでいるもの（取組が完了したものを含む。）
- △：一部取組が進んでいないもの
- ×：取組があまり進んでいない、または休止状態のもの

以下の表-1 の活動内容以外は概ね○（取組が順調に進んでいるもの（取組が完了したものを含む。)) の取組状況であった。

表-1 活動内容における取組状況が△のもの

4 つの取組方針	活動内容	取組状況
①環境の回復・創造、美しい風景の創出	31 GIS を使った情報図づくり	△
②活力ある都市の再生	8 臨海地域へ行きやすくなるようなアクセスの検討	△
③既存産業の育成・高度化と新産業の創造	4 みどり（森）の中で憩い、快適に働ける産業コミュニティをつくる	△

1 行動計画改訂の趣旨と視点

(1) 改訂の趣旨

- ・現行計画策定（平成 16 年 9 月）から 10 年以上が経過し、尼崎 21 世紀の森構想を取り巻く環境や活動主体の状況等が変化
- ・森構想の中間総括（平成 27 年度）を踏まえ、森構想のさらなる推進のため、行動計画を改訂

(2) 改訂の視点

- ①具体的な活動に結びついていない項目の見直し
 - 工場緑化等の推進
⇒森構想区域全体への拡大
 - 研究開発機能の充実・強化
⇒みどりの中で交流する産業コミュニティの創造
- ②少子高齢化など社会経済情勢の変化や近年のニーズ等を踏まえた新たな展開
 - 子育てニーズへの対応
(身近な自然の中で、安心して遊び育つ場)
 - 健康で豊かな生活の実現
(散策、スポーツを通じた安らぎと充足感)
 - 先進的取組の森構想区域外への波及
(森を活かした子育て、苗木の他への提供)
 - 活動体「森の会議」の活性化
(多様な主体の参画による活動の場の充実)

2 改訂行動計画の基本方針

(1) 目標

森と水と人が共生する環境創造のまちづくり
～地域に愛され、親しまれる森づくり～

(2) 当面の目標年度

平成 33 年度
(森構想が長期にわたる取組のため、尼崎の森中央緑地の整備完了時期等を考慮し設定)

(3) 取組方針

- 引き続き 4 つの取組方針のもと、「環境改善」と「都市再生」をめざす世界でも類を見ない取組を推進
- 環境の回復・創造、美しい風景の創出
 - 活力ある都市の再生
 - 既存産業の育成・高度化と新産業の創造
 - 多様な主体による推進

(4) 評価指標の設定

取組の進捗状況を把握するため、4 つの取組方針ごとに、評価指標と目標値を定め、目標の達成度を毎年整理

3 森構想推進のための取組

(1) 環境の回復・創造、美しい風景の創出



小学生による環境学習(はじまりの森)

◆先導整備地区（尼崎の森中央緑地等）における森づくり

- 県民、企業等の参画による植樹
- ㊦茅葺き民家の移築と里山体験プログラムの実施
- ㊦港湾緑地（第 3 工区）への森づくりの拡大
- ㊦遊具、ベンチ、緑陰樹の整備（大芝生広場東）

◆みどり（森）の多面的機能を活用したまちづくり

- 小学生等による環境学習やあまがさき森っこ活動の実施
- 森の子育てひろばなど、森を活かした子育ての推進
- 工場敷地のすき間緑化やセットバック緑化
- 尼崎鉄工団地協同組合による尼みつの生産
- ㊦乳幼児が安全に土や植物と触れ合える公園づくり
- ㊦炭焼き小屋、里庭、畑等の整備及びニイモ等の栽培（茅葺き民家周辺）
- ㊦雨水池整備、湿地性植物導入（港湾緑地）

◆森づくりを支える循環型のしくみづくり

- 武庫川、猪名川流域などの地域産種子からの苗づくりや苗木の里親制度の運営
- ㊦間伐材の有効活用の検討（尼崎の森中央緑地）

◆森づくりの輪の拡大

- 森づくり定例活動、エリア設定型森づくり活動及び苗木の里親植樹会
- アマフォレストの会による森づくり体験講座の開催
- 「苗木の里親案内人」の養成（尼崎信用金庫）
- 尼崎 21 世紀の森ウェブマガジン、フリーマガジン「Aa」、森のしんぶん等による PR
- ㊦尼崎の森ファミリークラブの設置

評価指標

- ・尼崎の森中央緑地の植樹本数
現状：7 万本（H27） 目標：20 万本（H33）
- ・森構想区域の緑被率
現状：9.5%（H24） 目標：15%（H33）

(2) 活力ある都市の再生



尼崎運河博覧会

◆人々の暮らしや活動を盛り込んだ地域の将来像づくり

- 水質浄化施設及び北堀キャナルベースを活用した水質浄化研究、環境体験学習の実施
- 尼崎運河博覧会、運河クルージング、オープンキャナルフェスティバル等の開催
- 尼崎 21 世紀の森型工場緑化の推進、工場緑化を支援する制度の活用
- ㊦レンタサイクルやコミュニティサイクルなど、尼崎の森中央緑地と最寄り駅を結びサイクル利用のしくみづくり
- ㊦自転車・歩行者用案内サイン等の設置、憩いの場の整備
- ㊦バス路線の利便性を高める方策の検討
- ㊦全国運河サミットの開催
- ㊦工場緑化のあり方検討会の設置
- ㊦事業者による緑化を推進する新たなしくみづくり

◆多様な主体がまちづくりに参加できるプログラムづくり

- 森やあまの花野、大芝生広場等を活用したイベントの開催
- 運河における SUP 体験会や尼崎キャナルガイドの会の活動の実施
- 尼崎キャナルガイド養成講座の開催
- ㊦地元自治会等と連携した森の文化祭、広々とした空間を活用した森の運動会等の開催
- ㊦スポーツイベント、打上げ花火等の実施
- ㊦尼崎市市制 100 周年記念マラソン大会の成果を活用したランニングコースの設定
- ㊦であい橋のライトアップ等による運河の魅力発信

評価指標

- ・尼崎の森中央緑地の来園者数
現状：50 万人（H27） 目標：60 万人（H33）
- ・尼崎運河でのまちづくり活動者数
現状：2,400 人（H27） 目標：3,500 人（H33）

(3) 既存産業の育成・高度化と新産業の創造



工場敷地のセットバック緑化

◆森と産業が共生するまちづくり

- 産業遺産等の資源を活用したまちづくり
- 尼崎運河博覧会、運河クルージング、オープンキャナルフェスティバル等の開催（再）
- 企業による環境再生の取組を子供たちに伝えるエコキッズメッセの開催
- 尼崎信用金庫等の企業の森づくり（企業協賛のしくみづくり）
- 尼ロックの展示室を活用した尼ロックや運河等の地域資源の学習
- 尼崎 21 世紀の森型工場緑化の推進、工場緑化を支援する制度の活用（再）
- 尼崎版グリーンニューディール（尼崎市）に基づく取組
- ㊦尼崎の森中央緑地における企業の福利厚生事業の実施
- ㊦工場緑化のあり方検討会の設置（再）
- ㊦事業者による緑化を推進する新たなしくみづくり（再）

◆森を活かした産業活性化の仕掛けづくり

- 太陽光発電施設、風力発電装置の稼働（尼崎の森中央緑地、フェニックス事業用地等）
- 燃料電池自動車の公用車への利用、商用水素ステーションの充実
- 水素社会実現に向けたセミナーの開催、水素関連産業市場への企業参入の支援
- あまがさき産業フェアの開催
- 環境改善に寄与する取組を表彰する「あましんグリーンプレミアム」の実施
- 森構想に関する工場・事業所の意向を把握するアンケート調査等の実施

評価指標

- ・森構想区域内で緑化に取組む工場・事業所数(累計)
現状：82（H27） 目標：100（H33）
- ・尼崎市内工場・事業所の森構想の認知度
現状：64%（H24） 目標：90%（H33）

(4) 多様な主体による推進



郷土種グリーンフェスタ

◆構想推進のための仕掛けづくり

- 尼崎 21 世紀の森の共通ロゴタイプ、マーク、カラー等に基づく広報活動の実施
- 缶バッジ、キーホルダー、エコバッグ等の作成・配布
- 企業協賛のしくみづくり（エコキッズメッセへの出展、尼崎信用金庫等の企業の森づくり）
- 県民のボランティア登録の推進（アマフォレストの会、苗木の里親制度）
- ㊦郷土種グリーンフェスタの開催
- ㊦話題性ある発信型イベントの開催（あましん植樹祭でのラジオ番組公開放送等）
- ㊦尼崎の森ファミリークラブの設置（再）
- ㊦森の子育てひろばの甲山森林公園や芦屋市総合公園への展開
- ㊦尼崎の森中央緑地で育成した苗木の他施設への提供
- ㊦ビジョン委員と連携した生物多様性の森づくり

◆構想推進のための組織づくり

- 市民、企業、各種団体による「森の会議」での活動マネジメント（ワークショップ等の開催）
- 尼崎 21 世紀の森ウェブマガジン等を通しての情報共有
- ㊦森の会議のさらなる活性化方策（近隣の大学、高校との連携等）の検討
- ㊦記念グッズや軽食販売等による収益確保の検討（尼崎の森中央緑地等）
- ㊦クラウドファンディング活用の検討

評価指標

- ・尼崎 21 世紀の森ウェブマガジンへのアクセス数
現状：19,000（H27） 目標：25,000（H33）
- ・県民の森構想の認知度
現状：31%（H28） 目標：50%（H33）

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの

①環境の回復・創造、美しい風景の創出に向けた取組一覧






取組	活動項目	活動内容	取組状況	取組	現在の活動主体等	取組内容	SDGSとの関連性
先導整備地 A区における 森づくり	ア 森づくりの 実践	1 尼崎の森中央緑地の森づくり	○	[継続] はじまりの森、パークセンター、大芝生広場等の供用 [○] [継続] 県民、企業等の参画による植樹 [○] [継続] 小学生を中心とした環境学習や「森の会議」による県民提案型イベント、昆虫採取イベント等の実施 [○] [新規] 尼崎藩ゆかりの茅葺き民家の移築と里山体験プログラムの実施 [○] [新規] 港湾緑地(第3工区)への森づくりの拡大 [○] [新規] 大芝生広場周辺での遊具、ベンチ、緑陰樹の整備 [○]	・県民 ・アマフォレストの会等の団体 ・尼崎信用金庫等の企業 ・徳島大学 ・(公財)ひょうご環境創造協会 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・第二工区における植樹エリアの森が生長するなど、森づくり活動が順調に進展。 ・環境学習やイベント等による利活用も着実に進展。 ・環境学習をテーマとして茅葺き民家の利用が開始。	  
		2 丸島地区の森づくり	○	[継続] 野球場、多目的広場等の施設の整備・供用 [○] [継続] 下水道施設の拡張計画を踏まえた自然生態保全育成の森づくりの検討 [○]		・スポーツ・レクリエーション機能を確保。	
		3 フェニックス事業用地の森づくり	○	[継続] 企業誘致の実施、太陽光発電施設による暫定的利用 [○] [継続] 大学等と連携した海藻類の堆肥化と港湾緑地における菜の花育成 [○] [継続] 埋立地の利用計画を踏まえた自然生態保全育成の森づくりの検討 [○]		・新たな産業の誘致を促進。大学との連携による水質浄化を中心とした市民活動も進展。	
みどり(森)の多面的機能※を活用したまちづくりの実践 B	イ 1,000haにおける“森づくり戦略”の検討	4 行動計画推進のためのワークショップ等の開催	○	[継続] 「森の会議」の開催 [○]	・アマフォレストの会 ・学識者 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・森の会議の開催継続(6年目)。	
		5 生物多様性保全の研究	○	[継続] 尼崎の森中央緑地植栽計画に基づく森づくり [○] [継続] 専門家による中央緑地緑化技術検討会の開催 [○] [継続] 森づくり体験講座等の開催 [○]		・緑化技術検討会、各種講座の開催により、中央緑地の生物多様性の森づくりが進展。	  
		6 森づくりにおけるアダプティブマネジメント(適応的管理)の手法の確立	○	[継続] 「はじまりの森」の定点観測の実施 [○] [継続] 動植物モニタリング調査の実施 [○]		・定点観測、モニタリング調査により情報を蓄積し、中央緑地の森づくりに反映。	
	ウ みどりのネットワーク(骨格)形成	7 河川・運河の緑化活動	○	[継続] 尼崎運河再生プロジェクト基本計画にもとづく環境整備 [○] [継続] 北堀運河等における桜並木整備とシンボルツリー植樹 [○] [継続] 地域との連携による緑化 [○]	・尼崎運河〇〇クラブ ・県・市等	・北堀運河を中心とした緑地環境の創出、地域と連携した環境学習や緑化の推進。	  
8 街路樹の緑化活動		○	[継続] 道路整備計画に伴う緑化の実施 [○]		・尼崎宝塚線等で街路樹を整備。企業の参画による緑化を実施。		

※【みどり(森)の多面的機能】とは 生物多様性保全機能環境保全(ヒートアイランド、CO2…)機能、防災力アップ機能、良好なまちなみ景観(修景)維持機能、地域の“らしさ”創出機能、安全・安心のコミュニティ形成機能、福祉機能(子育て、高齢者福祉…)など、多くの機能があります。




取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの

B	エ	身近なみどりの保全・創出を通じた良好なまちなみ景観と地域コミュニティづくり	9	学校でのみどりづくり	○	[継続] 尼崎市の小学校等での環境体験学習や緑化指導 [○] [継続] 中央緑地で尼崎市の小学3、4年生等を対象とした環境学習の受け入れ、「あまがさき森っこ活動」の実施 [○] [継続] 学校単位での苗木の里親への参加 [○]	・アマフォレストの会 ・企業 ・尼崎鉄工団地協同組合 ・学校 ・県・市・指定管理者等	・中央緑地での受け入れにより、小学4年生を中心とした環境学習が大きく進展。	 
			10	民有地(工場・住宅地)のみどりの豊かなまちづくり	○	[継続] 尼崎鉄工団地協同組合と連携した工場のすき間緑化 [○] [継続] 企業による工場敷地緑化 [○]		・すき間緑化と大企業による工場敷地緑化が進展。公共用地の緑化とあわせて、臨海地域の緑被率向上。	
			11	遊休地や低・未利用地の暫定的利用の仕組みづくり	○	[継続] 工場跡地や低・未利用地の暫定的活用に向けた関係機関との協議調整 [○]		・中央緑地を低・未利用地の暫定的活用のモデルとして位置づけ。	
	オ	安心して子育てのできる森づくり	12	尼崎の森中央緑地における森を活かした子育ての推進	○	[継続] 未就学児の親子を対象とした「森の子育てひろば」等の実施 [○] [新規] 乳幼児が安全に土や植物と触れ合える公園づくり(オーガニックガーデンづくり) [○]	・県民 ・県・市・指定管理者等	・「森の子育て広場」の継続実施。 ・パークセンター、茅葺民家友の会による畑の整備	 
	カ	みどり(森)づくりを通じたまちの“らしさ”の形成	13	尼の“みどり文化”発掘・再生・発信	○	[継続] 市によるニイモ復活プロジェクト [○] [継続] 尼崎南部再生研究室によるニイモ奉納祭 [○] [継続] 尼崎鉄工団地協同組合による蜂蜜(尼みつ)の生産 [○] [新規] 中央緑地の茅葺き民家周辺などでのニイモ等の栽培 [○]	・尼崎南部再生研究室 ・尼崎鉄工団地協同組合 ・県・市等	・ニイモ、尼みつをテーマに、尼崎の文化としての“みどり”を発掘・再生して発信。	 
			14	エコライフスタイルの実現	○	[継続] 剪定木等を燃料に利用する薪ストーブの活用(中央緑地パークセンター) [○] [新規] 茅葺き民家の移築復原や炭焼き小屋、里庭、畑等の整備(中央緑地) [○]		・茅葺き民家で昔の里山の暮らしを体験できるプログラムを実施。	
キ	みどり(森)づくりを通じた、安全・安心のまちづくり	15	緑化による防災力アップのまちづくり	○	[継続] 緑地帯整備(北堀運河等) [○] [継続] 企業によるセットバック緑化 [○]	・企業 ・県等	・公共用地や工場敷地の緑化により、震災時の延焼やコンクリート塀の倒壊による災害の防止など、防災力向上に貢献。	 	
ク	尼崎の水辺原風景復元	16	生きものが住める川と海辺の復元	○	[継続] 人工干潟の設置及び活用(北堀運河の水質浄化施設) [○] [新規] 雨水池の整備、湿地性植物の導入(中央緑地の港湾緑地部) [○]	・尼崎運河〇〇クラブ ・県等	・干潟のもつ水質浄化や生物育成の効果を子供たちに伝える環境学習を実施。		

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの




C 森づくりを支える循環型のしくみづくり	ケ 水、土壌、種子・苗の準備と活用	17 森づくりのための水資源の循環利用	○	[新規] 雨水池への工業用水の補給(中央緑地の港湾緑地部) [○]	<ul style="list-style-type: none"> ・県民 ・アマフォレストの会等の団体 ・尼崎信用金庫等の企業 ・成良中学校 ・徳島大学 ・大阪湾広域臨海環境整備センター ・県・市・指定管理者等 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央緑地全体で雨水を一時的に貯留し、時間をかけて地下へ浸透させ水質浄化を図る。 ・循環型の土壌づくりを試行的に実施。 ・中央緑地で地域産種子を用いた森づくりが順調に進展。 ・中央緑地で間伐材の有効活用のモデルとして薪ストーブを使用。 	 
		18 循環型の土壌づくり	○	[継続] 循環型の土壌づくり(のびのび公園) [○] [継続] 貝殻をつぶして作った土壌による野菜づくり(成良中学校) [○]			
		19 循環型の苗・種子づくり〜リ・ジェネラル〜	○	[継続] 県民、企業・団体等の参画による地域産種子からの苗づくり(中央緑地) [○] [継続] 県民、企業・団体等の参画による苗木の里親制度の運営 [○]			
		20 木質バイオマス資源利用の調査・研究・実施	○	[継続] 剪定木等を燃料に利用する薪ストーブの活用(中央緑地パークセンター) [○] [新規] 増加が見込まれる間伐材の有効活用方策の検討(中央緑地) [○]			
D 森づくりの輪を広げる(森づくりに携わる人の輪の拡大や人材の育成、信頼される組織づくり)	コ 人材の育成・組織の育成	21 モデル地域の視察や勉強会、ワークショップの実施	○	[継続] 森づくり定例活動等における見学会や種子採取、「森づくり体験講座」の実施 [○]	<ul style="list-style-type: none"> ・アマフォレストの会 ・尼崎南部グリーンワークス ・尼崎信用金庫等の企業 ・人と自然の博物館 ・県・市・指定管理者等 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を中央緑地の生物多様性の森づくりに反映。 ・中央緑地での森づくり定例活動や小学生を主に対象とした環境学習において、苗づくりや土づくりの体験プログラムを実践。 ・森づくりの指導や講座開催により、参加者は一定の知識・技能を習得。 ・森づくり定例活動、エリア設定型森づくり活動等の導入により、県民、企業・団体が継続的に維持管理に参画。 ・市民団体と連携した森づくり活動が進展。 ・苗木育成に必要な土壌等の基礎データを概ね収集できた。 ・環境学習の実施校が増加。対象も小学生から中学、高校生に拡大。 	  
		22 苗づくり・土づくりの体験プログラムの実施	○	[継続] 中央緑地における森づくり定例活動 [○] [継続] 「かんきょうモデル都市あまがさき探検事業」による小学4年生の環境学習等において体験プログラムを実施 [○]			
		23 森づくりアドバイザーの養成	○	[継続] 植樹会等へ参加した県民や企業へのアマフォレストの会による指導 [○] [継続] アマフォレストの会による森づくり体験講座の開催 [○] [継続] 尼崎信用金庫による「苗木の里親案内人」の養成 [○] [継続] 森づくりや環境学習の指導者を養成するサポーター養成講座 [○]			
		24 維持管理に携わるためのしくみづくりの検討	○	[継続] 中央緑地における森づくり定例活動、エリア設定型森づくり活動及び苗木の里親植樹会 [○] [継続] 尼崎信用金庫と県による森づくりの推進に関する協定の運用 [○] [新規] 尼崎の森ファミリークラブの設置(中央緑地) [○]			
		25 既存ボランティア団体との連携	○	[継続] アマフォレストの会などの活動と連携した生物多様性の森づくり [○]			
		26 水質、土壌、生物、植生などの調査・学習	○	[継続] 人と自然の博物館による栽培実績の少ない植物の栽培研究および土壌等の基礎的データの提供 [○]			
		27 小中高大学でのみどり学習の実施	○	[継続] 尼崎市の小学校等での環境体験学習や緑化指導 [○] [継続] 中央緑地で尼崎市の小学3・4年生、中学・高校生を対象とした環境学習プログラムの実施 [○]			

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの

森づくりの輪を広げる(森づくりに携わる人の輪の拡大や人材の育成、信頼される組織づくり)	D	サ	PR・イベント実施	28	森づくりに携わる人の輪の拡大	○	[継続] 森づくりフォーラムや中央緑地での植樹会、各種イベントの開催 [○] [継続] 尼崎21世紀の森ウェブマガジン、フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」等によるPR [○] [新規] 阪神高速湾岸線通過車両に対するPR方法の検討(中央緑地) [○]	・NPO法人尼崎21世紀の森 ・尼崎信用金庫等の企業 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・積極的な活動内容のPRやイベントの開催により、森づくりに関わる人の輪を拡大。	 
		シ	情報の蓄積・活用の仕組みづくり	29	森づくりを後生に伝えるアーカイブ(文書庫)の仕組みづくり	○	[継続] 県ホームページ、尼崎21世紀の森ウェブマガジンによる情報提供 [○]	・県・市・指定管理者等	・尼崎21世紀の森づくりに係る各種資料や活動内容をHP等で紹介するとともに、アクセス可能な情報として蓄積。	
				30	森づくりの効果を検証するための現況及び今後のデータ観測、収集	○	[継続] 「はじまりの森」の定点観測、動植物モニタリング調査 [○]		・中央緑地でモニタリングによる情報蓄積。	
				31	GISを使った情報図づくり	△	[継続] 中央緑地におけるGISを活用した苗木植栽図の整理 [△]		・中央緑地の苗木植栽図について、GISを活用し、情報を整理。	

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの







②活力ある都市の再生に向けた取組一覧

取組	活動項目	活動内容	取組状況	取組	現在の活動主体等	取組内容	SDGSとの関連性
A 人々の暮らしや活動を盛り込んだ地域の将来像づくり(まちを考える)	ア	1 まちあるきによる地域の状況の把握	○	[継続] 森の会議の活動を通じての情報収集 [○] [継続] キャナルウォークの定期開催 [○]	・NPO法人尼崎21世紀の森 ・尼崎キャナルガイドの会 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・まちあるき等で得られた情報をもとに、工場マップなどの作成やウェブサイト(尼崎21世紀の森ウェブマガジン)を通じて、臨海地域の魅力を発信。	  
		2 既存の計画や歴史の学習	○	[継続] 森の会議の活動を通じての情報収集 [○]		・地元の方のお話、市学芸員による尼崎今昔物語など、臨海地域の将来像を考える上での貴重な情報を得ることができた。	
		3 情報の整理、蓄積(データベース化)	○	[継続] フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」等の発行 [○] [継続] 尼崎21世紀の森ウェブマガジンへのまちの情報の投稿 [○]		・まちあるきで得られた情報をもとにマップを作成し、地域の魅力を発信。	
	イ	4 工場緑化の推進に向けたしくみの検討	○	[継続] 尼崎21世紀の森型工場緑化の運用 [○] [継続] 工場緑化を支援する制度の活用(県民まちなみ緑化事業等) [○] [継続] 工場緑化等の推進に関する市条例の適用 [○] [新規] 工場・事業所の参画を得た「工場緑化のあり方検討会(仮)」の設置 [○] [新規] 事業者による緑化の取組を推進する新たなしくみづくり [○]	・NPO法人尼崎21世紀の森 ・尼崎南部再生研究室 ・企業 ・尼崎商工会議所 ・尼崎運河○○クラブ ・徳島大学 ・県・市等	・工場緑化の具体的手法の提案や支援制度の運用・拡充等により、工場緑化が進展している。	  
		5 沿道景観づくりに向けたまちづくり	○	[新規] 中央緑地へ誘導する自転車・歩行者用の案内サイン等の設置、市民憩いの場(欄干デザイン等)の整備 [○]		・花緑による美しいまちなみづくり、沿道景観づくりを実施。	
		6 水辺を活かしたまちづくりに関する取組の実施	○	[継続] 水質浄化施設及び北堀キャナルベースを活用した、尼崎運河博覧会、運河クルージング、SUP体験会、オープンキャナルデイ、オープンキャナルフェスティバル等の開催 [○] [新規] 全国運河サミットの開催 [○]		・市民団体や大学等と連携した、水質浄化活動やイベントの開催を通じて、運河の水質浄化や再生が進展。	
		7 水質浄化・水循環の取組の検討・実施	○	[継続] 徳島大学、県、市による「尼崎運河における水環境改善等の推進についての連携協力に関する協定」の運用 [○] [継続] 北堀運河の水質浄化施設とキャナルベースを活用した水質浄化研究や環境体験学習の受入れ [○]		・環境体験学習等を通じて、水質浄化に関する理解を深めるとともに、協定の締結により、研究機関との連携体制も強化。	

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの

A	ウ	環境配慮型の新しい暮らしや活動の提案・実践 ①環境にやさしい交通システム及びアクセスの実現 ②エコライフ・省エネルギー型ライフスタイルの実践	8	臨海地域へのアクセスの改善	△	[継続] 阪神出屋敷駅と中央緑地を結ぶバスの運行およびバス事業者への事業費の一部補助 [△~H29] [継続] 尼っこりん・ロードなどを活用したサイクル利用の拡大 [○] [新規] バス路線の利便性を高める方策の検討 [×] [新規] レンタサイクルやコミュニティサイクルなど中央緑地と最寄り駅を結ぶサイクル利用のしくみづくり [○]	・NPO法人尼崎21世紀の森 ・尼崎信用金庫 ・成良中学校 ・徳島大学 ・大阪湾広域臨海環境整備センター ・(公財)ひょうご環境創造協会 ・県・市等	・バスの運行や「尼っこりん・ロード」の整備などにより、臨海地域へのアクセスを確保。	11 住み続けられるまちづくりを 7 エネルギーと気候変動に脅かされる自然を 15 陸の豊かさも守ろう
			9	環境にやさしい交通システム(低公害車等)の検討	○	[継続] 阪神出屋敷駅と中央緑地を結ぶ阪神バスの運行 [○] [継続] エコキッズメッセ等における低公害車のPR [○]		・公共交通機関として路線バスの運行を確保。	4 質の高い教育をみんなに
			10	再生可能な環境にやさしい「森のエネルギー」の利用	○	[継続] 中央緑地(学習棟・作業棟)、フェニックス事業用地等における太陽光発電施設の稼働 [○] [継続] 中央緑地における風力発電装置エウロスの稼働 [○]		・太陽光発電施設の設置により、再生可能エネルギーの利用が進展。	
			11	地域内で発生する廃棄物のリサイクルの検討・実施	○	[継続] 剪定木等を燃料に利用する薪ストーブの活用(中央緑地パークセンター) [○] [継続] 循環型の土壌づくり(のびのび公園) [○] [継続] 貝殻をつぶして作った土壌による野菜づくり(成良中学校) [○] [新規] 増加が見込まれる間伐材の有効活用方策の検討(中央緑地) [○]		・臨海地域内で発生する再利用可能な資源、廃棄物のリサイクルに一定の成果を上げた。	
			12	環境にやさしい行動の実践、普及、啓発	○	[継続] エコキッズメッセの開催 [○]		・子供たちに環境問題を身近に感じてもらう機会を確保。	
B	エ	地元住民、地縁組織、工場、企業、行政など、各種主体の連携づくり	13	地元住民、既存まちづくり団体との連携	○	[継続] 地元企業・団体・学校等と連携した尼崎運河博覧会、オープンキャナルフェスティバル等の開催 [○] [継続] 運河におけるSUP体験会や尼崎キャナルガイドの会の活動の実施 [○] [継続] 地元住民や団体の交流の場となる森の会議の開催 [○] [新規] 全国運河サミットの開催 [○]	・NPO法人尼崎21世紀の森 ・尼崎南部再生研究室 ・尼崎キャナルガイドの会 ・尼崎運河〇〇クラブ ・徳島大学 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・中央緑地の森づくりと運河の再生に関する取組を通じて、関係者の連携が進展。	11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かを守ろう
			オ	まちづくりを担う人材の発掘	14	まちづくりアドバイザーの養成	○	[継続] 尼崎キャナルガイド養成講座の開催 [○] [継続] 尼崎キャナルガイドの会の活動 [○]	・尼崎キャナルガイドの会 ・県・市等

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの






B 地元住民、市民、事業者、行政などの主体がまちづくりに参加できるプログラムづくり(まちをつくる)	カ 地域内の環境を活用した生活文化の創出、発信	15 産業遺産を活用したまちづくり	○	[継続] 産業遺産である尼崎運河のPRとして尼崎運河博覧会、運河クルージングを実施 [○] [継続] パンフレット「阪神南近代化産業遺産物語」による運河網をはじめとする産業遺産の紹介 [○] [新規] であい橋のライトアップ等による運河の魅力発信 [○]	・NPO法人尼崎21世紀の森 ・尼崎南部再生研究室 ・尼崎信用金庫 ・県・市・指定管理者等	・運河サミット、チャネルフライデーの開催等により、尼崎運河をはじめとする地域の貴重な産業遺産の魅力を発信。	 							
		16 事業予定地や低・未利用地の一時的利用によるソフト面でのにぎわいづくり	○	[継続] 中央緑地でのあましん植樹祭の実施 [○] [新規] スポーツイベント、打上げ花火等の実施(中央緑地の港湾緑地部) [○]		・中央緑地では、各種イベントを通じて、多くの参加者に尼崎21世紀の森づくりをPRすることができた。								
	キ 健康・福祉スローライフを実現する森の利活用	17 尼崎の森中央緑地や運河を活用した健康づくりの推進	○	[継続] 尼崎スポーツの森の運営と活用 [○] [継続] 尼っ子リンリンロードなどを活用したサイクル利用の拡大 [○] [新規] 尼崎市市制100周年記念マラソン大会の成果を活用したランニングコースの設定 [○] [新規] レンタサイクルやコミュニティサイクルなど、中央緑地と最寄駅を結ぶサイクル利用のしくみづくり [○] [新規] 大芝生広場を活用した森の運動会の開催 [○]	・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・多様な主体の参画を得て、数多くのイベントを開催し、利活用を促進。	  							
								ク 先導整備地区のまちづくりへの参画・協働	18 尼崎の森中央緑地の利活用と森構想エリアへの拡大	○	[継続] 大芝生広場等を活用したイベントの開催(ダンスフェスティバル、森のマルシェ、パークヨガ、アジリティ等) [○] [継続] 森やみなの花野を活用したイベントの開催(昆虫採取イベント、郷土種ガーデニングコンテスト等) [○] [新規] 地元自治会等と連携した森の文化祭の開催、広々とした空間を活用した森の運動会、ホースセラピー、凧揚げ大会等の実施 [○]	・県民 ・地元自治会・団体 ・アマフォレストの会 ・徳島大学 ・(公財)ひょうご環境創造協会 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・事業者と協力して、産業育成や工場緑化等を行い、まちづくりを推進。	  
									19 丸島地区におけるまちづくりと利活用	○	[継続] 野球場、多目的広場等を活用したスポーツ・レクリエーション機能の確保 [○]		・スポーツ・レクリエーション機能を確保、交流のまちづくりを推進。	
	20 フェニックス事業用地におけるまちづくりと利活用	○	[継続] 太陽光発電施設による暫定的利用 [○] [継続] 大学等と連携した海藻類の堆肥化と港湾緑地における菜の花育成 [○]		・将来の自然生態保全育成の森については、太陽光発電施設による暫定利用を継続。									

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの

③既存産業の育成・高度化と新産業の創造に向けた取組一覧

取組	活動項目	活動内容	取組状況	取組	現在の活動主体等	取組内容	SDGSとの関連性
A 森と産業が共生するまちづくりの推進(地域や市民生活とのつながり)	ア 産業遺産等の資源を活用したまちづくりの推進	1 産業遺産等について調べ、学ぶ	○	[継続] 尼ロック内に設けた展示室を活用した尼ロックや運河等の地域資源の学習 [○] [継続] 津波等の防災学習 [○]	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人尼崎21世紀の森 ・尼崎南部再生研究室 ・企業 ・尼崎運河○○クラブ ・県・市等 	<ul style="list-style-type: none"> ・尼ロックに防災学習等のためのスペースを設け、地域資源の学習の場づくりを実践。 ・臨海地域の代表的資源である運河を活用したまちづくり活動を実践。同業種または異業種企業間ネットワークの形成。構想エリア及び周辺又は広域的な企業間ネットワークの形成。 ・臨海地域の資源である運河の活用、企業の環境再生の取組を中心にまちづくり活動を実践。 ・講師として21世紀の森づくりに関連する企業の技術、仕事を紹介。 	  
		2 産業まちづくりの輪を広げるための仕組みをつくる	○	[継続] 尼崎運河○○クラブによるまちづくり活動 [○] [継続] 尼崎運河博覧会、運河クルージング、尼崎運河オープンチャンネルフェスティバル等の開催 [○] [新規] 全国運河サミットの開催 [○]			
		3 産業都市としてのアイデンティティを育む	○	[継続] 尼崎運河博覧会、運河クルージング、尼崎運河オープンチャンネルフェスティバル、尼崎ばーち一等の開催 [○] [継続] 企業による環境再生の取組を子供たちに伝えるエコキッズメッセの開催 [○] [新規] 全国運河サミットの開催 [○]			
	イ 働く人の交流の場の創出 [新規]	4 みどり(森)の中で憩い、快適に働ける産業コミュニティをつくる	△	[継続] 尼崎信用金庫等の企業の森づくりへの協力 [○] [新規] 企業の福利厚生事業の中央緑地における実施 [×]	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎信用金庫等の企業 ・尼崎商工会議所 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等 	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎信用金庫等の企業の森づくりへの協力継続。 ・あまがさきモリンピックに協賛企業として参加。 ・企業単位で尼崎モリンピックの競技に参加。イベントのブース出店。 	  
		ウ 工場内、敷地際などの緑化の検討	5 工場緑化について調べ、学ぶ	○	[新規] 工場・事業所の参画を得た「工場緑化のあり方検討会(仮)」の設置 [○]	<ul style="list-style-type: none"> ・企業 ・尼崎鉄工団地協同組合 ・尼崎商工会議所 ・県・市等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「尼崎21世紀の森型工場緑化」の提案づくりに貢献。 ・企業の主体的な取組に加え、工場緑化の具体的手法の提案や支援制度の運用・拡充等により工場緑化が進展し、臨海部の緑被率向上。同業種または異業種企業間ネットワークの形成。構想エリア及び周辺又は広域的な企業間ネットワークの形成。
	6 工場緑化推進の仕組みをつくる		○	[継続] 尼崎鉄工団地協同組合と連携した工場のすき間緑化 [○] [継続] 工場緑化を支援する制度の活用(県民まちなみ緑化事業等) [○] [継続] 工場緑化等の推進に関する市条例の適用、尼崎21世紀の森型工場緑化ガイドブックによる企業への指導 [○] [新規] 事業者による緑化の取組を推進する新たなしくみづくり [○]			
	エ 環境の回復・改善方策の検討・実施	7 森を活かした「グリーン系産業」の仕組みをつくる	○	[継続] 尼崎市が「環境と産業の共生」、「地域経済の好循環」を図るために制定した尼崎版グリーンニューディールに基づく取組(公用車への燃料電池自動車の導入、スマートコミュニティの構築など) [○]	<ul style="list-style-type: none"> ・企業 ・尼崎信用金庫 ・県・市等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「尼崎版グリーンニューディール」に基づく取組が進展。 ・「尼崎版グリーンニューディール」に基づく取組が進展。 	 
		8 幅広い環境技術、環境要素に展開する	○				

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの




B 森を活かした産業活性化の仕掛けづくり	オ 新たな環境・エネルギー産業の振興	9 環境・エネルギー産業について調べ、学ぶ	○	[継続] 中央緑地(学習棟・作業棟)、フェニックス事業用地等における太陽光発電施設の稼働 [○] [継続] 中央緑地における風力発電装置エウロスの稼働 [○] [継続] 燃料電池自動車の公用車への利用、商用水素ステーションの充実 [○]	・企業 ・尼崎信用金庫 ・(公財)ひょうご環境創造協会 ・県・市等	・太陽光発電施設の設置により、再生可能エネルギーの利用及び環境学習を实践。	 		
		10 環境・エネルギー産業の振興の輪を広げるための仕組みをつくる	○	[継続] 水素社会実現に向けたセミナーの開催、水素関連産業市場への企業参入支援 [○]		・研究機関との連携体制について検討を実施。			
	カ 産業支援の仕組みづくり		11 企業アンケートの実施	○	[継続] 森構想に関する工場・事業所の意向を把握するためのアンケート調査等の実施 [○]	・NPO法人尼崎21世紀の森 ・尼崎信用金庫等の企業 ・尼崎商工会議所 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・企業等の意向を把握する基礎資料とすることができた。	  	
			12 産業活性化方策の検討、提案	○	[継続] 環境改善に寄与する地域の優れた技術や製品・工法、取組などを表彰する「あましんグリーンプレミアム」の実施 [○]				・環境モデル都市尼崎のブランドイメージ構築に寄与。
			13 地域PRと情報発信	○	[継続] エコキッズメッセの開催 [○] [継続] あまがさき産業フェアの開催 [○] [継続] 尼崎21世紀の森ウェブマガジン、フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」等による情報発信 [○]				・臨海地域のPRと産業活性化に関する情報発信に取組み、森構想と企業活動を結びつけることができた。広域的な企業間ネットワークによる企業広報誌や企業研修会を活用した情報発信。

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの

④多様な主体による推進一覧

取組	活動項目	活動内容	取組状況	取組	現在の活動主体等	取組内容	SDGSとの関連性	
A 構想推進のための仕掛けづくり	ア	CI (コミュニティ・アイデンティティ) 計画の作成	○	[継続] 尼崎21世紀の森CI計画 (ロゴタイプ、マーク、アイキャッチャー、基本カラー等) に基づく広報活動の実施 [○]	・NPO法人尼崎21世紀の森 ・県・市等	・計画の作成、様々な媒体を通じての効果的な活用により、尼崎21世紀の森づくりの認知度を高め、愛着を持ってもらうことができた。		
	イ	広報 (PR) 計画の作成・実施	2	○	[継続] フリーマガジン「Aa」、「森のしんぶん」の発行 [○]	・NPO法人尼崎21世紀の森 ・アマフォレストの会 ・尼崎信用金庫 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・「Aa」、「森のしんぶん」等、各種広報誌の作成。	
			3	○	[継続] 県・市・NPO法人尼崎21世紀の森等によるホームページの更新 [○]		・ホームページ等により広く情報発信。	
			4	○	[継続] 森づくり活動への勧誘のための各種PRチラシ等の作成 [○] [継続] 中央緑地の整備の進展に合わせたイベント案内チラシ作成 [○]		・ターゲットに合わせたデザイン作成、配付先の絞り込み・決定により、効果的に情報を発信。	
			5	○	[継続] 缶バッジ、キーホルダー等のPRグッズの作成 [○] [継続] 森をイメージしたエコバッグの作成 [○]		・PRグッズ等の作成・配付により、森づくりに携わる人々を増やすことができた。	
			6	○	[新規] 郷土種グリーンフェスタ、大芝生広場を活用した森の運動会の開催 (中央緑地) [○] [新規] あましん植樹祭と連携したラジオ番組公開放送 [○]		・イベント毎に森づくりの進捗状況に合わせたテーマを設定し、参加者に森づくりの着実な推進をPR。	
			7	○	[継続] 企業協賛型の取組 (フリーペーパー「Aa」の発行) [○] [継続] エコキッズメッセへの企業の出展 [○] [継続] 尼崎信用金庫等の企業の森づくりへの協力 [○]		・NPO法人尼崎21世紀の森 ・アマフォレストの会 ・尼崎信用金庫等の企業 ・森の会議 ・県・市・指定管理者等	
	8	○	[継続] 森づくりに関わった人材、団体のデータベース化 [○]	・ワークショップやフォーラム等の開催により、森づくりに携わる人々を増やすことができた。				
	9	○	[継続] アマフォレストの会の活動 [○] [継続] 苗木の里親制度による県民のボランティア登録 [○] [新規] 尼崎の森ファミリークラブの設置 (中央緑地) [○]	・ボランティア登録制度等により、森づくりに携わる人々を増やすことができた。				
	10	○	[継続] 「森の会議」の開催 [○]	・森の会議により、県民提案型イベントが実施されるなどプラットフォームを介した活動の進展。				
	エ	森構想の先進的取組の普及 [新規]	○	[新規] 森の子育てひろばの甲山森林公園や芦屋市総合公園への展開 [○] [新規] 中央緑地で育成した苗木の他施設への提供 [○] [新規] ビジョン委員と連携した生物多様性の森づくり [○]	・県民 ・県・市・指定管理者等	・森の子育てひろばを芦屋市総合公園で実施。 ・ビジョン委員と連携したクロマツの移植。		

取組状況 ○:取組が順調に進んでいるもの(取組が完了したものを含む。) △:一部取組が進んでいないもの ×:取組があまり進んでいない、または休止状態のもの

B 構想の推進 母体としての 協議会の 組織づくり	オ	情報蓄積・ 共有のしく みづくり	12 データベースづく り	○	[継続] 中央緑地及び周辺地域の過去の写真等を収集・整理し、森構想や中央緑地のPR等に活用 [○]	・森の会議 ・県・市・指定管理者等	・中央緑地及び周辺地域の歴史情報として、過去の写真等を事業説明やイベント等で活用。 ・森の会議等の開催予定をウェブ上に公開することで、参加者の情報入手が容易になった。 ・勉強会やワークショップ等を通じて、活動の前提となる基礎知識を共有化。	  			
			13 情報共有のしくみづくり	○	[継続] メーリングリスト、ホームページによる情報共有 [○] [継続] 尼崎21世紀の森ウェブマガジンを通しての情報共有 [○]						
			14 学習会、研修会の開催	○	[継続] 森の会議におけるワークショップ等の開催 [○]						
	カ	活動体(森の会議)の支援 [新規]	15 活動体(森の会議)の支援	○	[新規] 「森の会議」のさらなる活性化方策(近隣の大学や高校との連携など)の検討 [○]	・尼崎21世紀の森づくり協議会 ・県・市・指定管理者等	・森の会議による県民や団体間のネットワークが強化された。				
			キ	活動資金の確保に向けた取組 [新規]	16 自主財源確保のしくみづくり				○	[新規] 記念グッズや軽食販売等による収益確保の検討(中央緑地等) [○] [新規] クラウドファンディング活用の検討 [○]	・森の会議で発案されたイベントの中には、クラウドファンディングで活動費を確保しているものもある。

2. 活動内容の分析

△（一部取組が進んでいないもの）の活動内容について、各取組の状況から考えられる理由やその推進の方向性について整理した。

表-2△の活動内容の考えられる理由とその推進に向けて

活動内容	取組	考えられる理由	推進に向けて
① -31 (P6) GIS を使った 情報図づくり [△]	[継続]中央緑地における GIS を活用した苗木植栽 図の整理	GIS は使用し ていないが、 植栽図は別途 作成済み	・同左
② -8 (P8) 臨海地域へ行 きやすくなる ようなアクセ スの検討 [△]	[継続]阪神出屋敷駅と中 央緑地を結ぶバスの運行 およびバス事業者への事 業費の一部補助 [△～ H29] [新規] バス路線の利便性 を高める方策の検討 [×] [継続] 尼っこりんリン・ ロードなどを活用したサ イクル利用の拡大 [○] [新規] レンタサイクルや コミュニティサイクルな ど中央緑地と最寄り駅を 結ぶサイクル利用のしく みづくり [○]	昨年度まで取組を 行ったが、平日を 中心に臨海地域へ のアクセス手段と して、バスの利用 は少ない。	・コミュニティサイ クルで対応。 ・大規模イベント開 催時は主催者による チャーターバスで対 応。 <路線バスの現状> (H30. 5. 14 以降) 平日 往復 25→2 便 土日祝 往復 22 便 ※平日乗車数 1 便あ たり平均 2 名程度 のため減便
③ -4 (P10) みどり（森） の中で憩い、 快適に働ける 産業コミュニ ティをつくる [△]	[継続] 尼崎信用金庫等の 企業の森づくりへの協力 [○] [新規] 企業の福利厚生事 業の中央緑地における実 施 [×]	構想エリア内の企 業の意向把握の不 足	・構想エリア内の企 業へのヒアリングを 踏まえ、推進方策を 検討する。 (詳細は P15)

3. 企業へのヒアリング

表-3 ヒアリングを行った企業一覧

企業名	日時	会社概要
A 団地共同組合	2019.7.22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合企業 20 社で構成 ・ 昭和 48 年に公害防止事業団と兵庫県及び尼崎市の指導の下で創立（尼崎市平左衛門町） <p><環境保全活動やCSR活動などの取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業団地内でのプランター緑化等を実施。 ・ 組合企業が尼宝線で清掃活動を実施。
株式会社 B	2019.7.25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員 35 人 ・ 大正 5 年創立、平成 25 年に尼崎工場が竣工（尼崎市末広町） <p><環境保全活動やCSR活動などの取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄に関する環境学習の講義など
C 株式会社	2019.8.23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員 144 人 ・ 大正 13 年創立、昭和 16 年に尼崎工場完成（尼崎市大浜町） <p><環境保全活動やCSR活動などの取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場周辺の清掃活動を実施
D 株式会社	2019.8.26	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員 225 人 ・ 昭和 44 年創立、昭和 56 年尼崎市に本社設立。（尼崎市東初島町） <p><環境保全活動やCSR活動などの取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎の森中央緑地でエリア設定の森づくり活動 ・ 自治会と連携した工場周辺の地域の清掃活動

■ヒアリング項目

- ① 環境保全活動や CSR 活動の取組について
- ② 森構想エリアでのレクリエーション活動や従業員の福利厚生取組

4. ヒアリングを踏まえた「企業の福利厚生事業の中央緑地における実施」への対応案

ヒアリング項目① 環境保全活動やCSR活動の取組みについて

- (1) ヒアリング内容
 - ・清掃活動、環境学習の実施などの取組みは盛んである。
 - ・取組みを通じて、従業員やその家族が会社に誇りを持ってもらいたい。
 - ・しかし、参加者の確保が困難など、取組みの拡大ができない。
- (2) 今後の課題
 - ・取組みを社内外へ発表するような機会がない。
- (3) 対応案
 - ・エコキッズメッセなどの企業の環境活動をPRするイベント等積極的な展開。
 - ・中央緑地で行う集客イベント（森のマルシェ等）と同時開催することにより、従業員家族も楽しみやすくなる。

ヒアリング項目② 森構想エリアでのレクリエーション活動について

- (1) ヒアリング内容
 - ・中央緑地でのイベント等には関心があるが、開催等を知らない。
 - ・体験型のイベントには関心が高く、子育て世代の従業員は参加の可能性がある。
 - ・中央緑地でのレクリエーション活動の際、飲食や送迎サービスがあるとよい。
- (2) 今後の課題
 - ・構想エリア内企業に対しての広報が十分でない。
 - ・企業が中央緑地をどのように利用したらよいかわからない。
 - ・飲食や送迎サービスは実施していない。
- (3) 対応案
 - ・構想エリア内企業へ定期的にイベント情報など送る方法を確立。
 - ・単に企業に貸し出すだけでなく、企業の利用を想定した企画を提案。
 - 【具体例】
 - 社内運動会などを想定したプログラムを提案
 - ※モリンピックの競技などを参考にした、競技大会の提案、資材等の貸し出し
 - 企業研修などのプログラムを提案
 - ※既に社員研修を行っている企業等の事例を参考（尼崎信用金庫、阪神高速、三菱電機等）
 - フード提供や無料送迎を実施する集客イベントとの同時開催により、飲食、送迎サービスを確保
 - ※大芝生広場で集客イベントを実施し、はじまりの森で企業イベントを実施するなど同時開催を検討

1 環境の回復・創造、美しい風景の創出に向けた取組

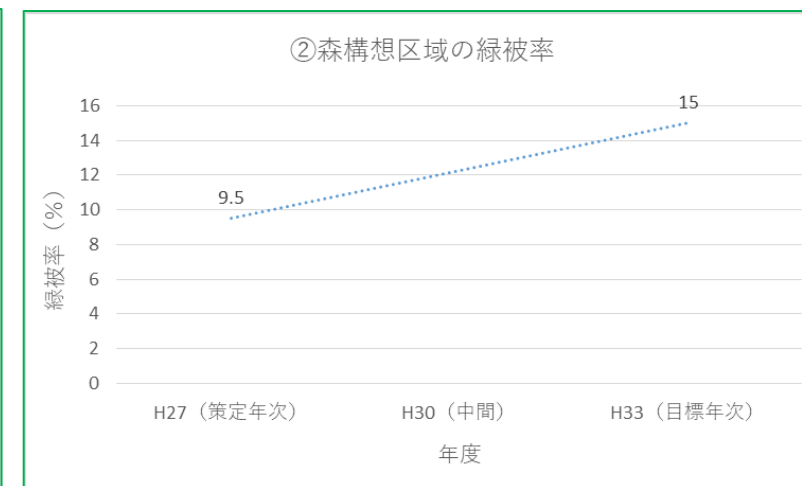
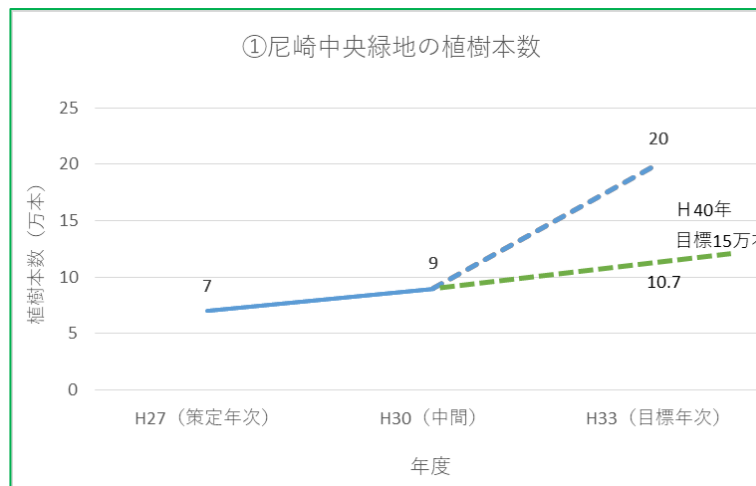
【進捗状況をはかるための指標】

①尼崎の森中央緑地の植樹本数

年度	H27 (策定年次)	H30 (中間)	H33 (目標年次)
植樹本数 (万本)	7	9	20

②森構想区域の緑被率

年度	H27 (策定年次)	H30 (中間)	H33 (目標年次)
緑被率 (%)	9.5		15



2 活力ある都市の再生に向けた取組

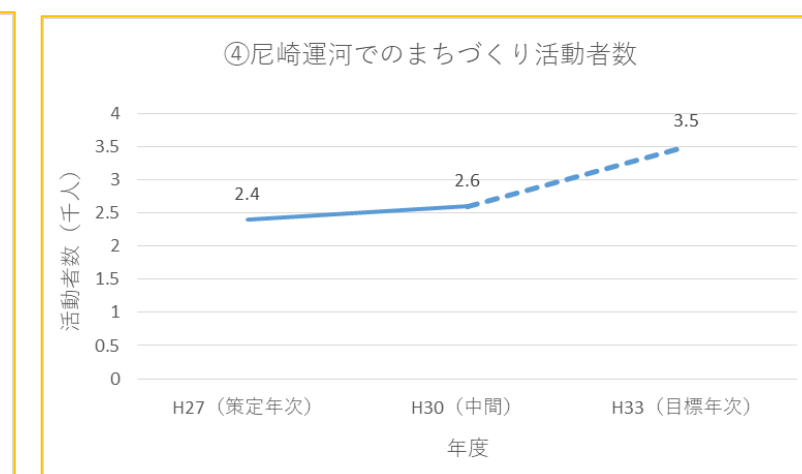
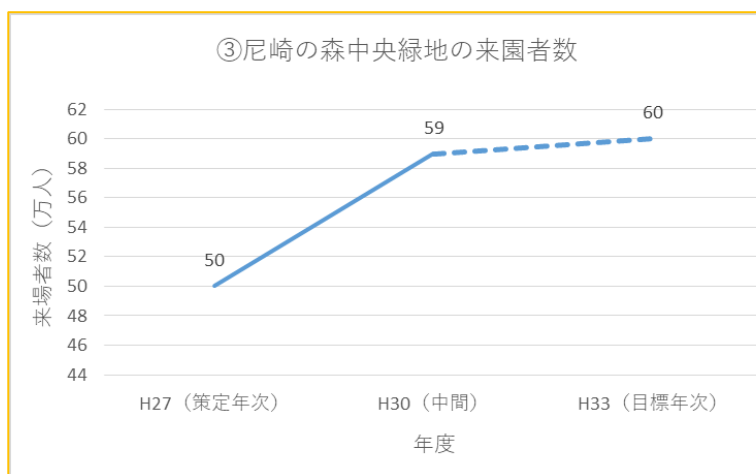
【進捗状況をはかるための指標】

③尼崎の森中央緑地の来園者数

年度	H27 (策定年次)	H30 (中間)	H33 (目標年次)
来園者数 (万人)	50	59	60

④尼崎運河でのまちづくり活動者数

年度	H27 (策定年次)	H30 (中間)	H33 (目標年次)
活動者数 (千人)	2.4	2.6	3.5



3 既存産業の育成・高度化と新産業の創造に向けた取組

【進捗状況をはかるための指標】

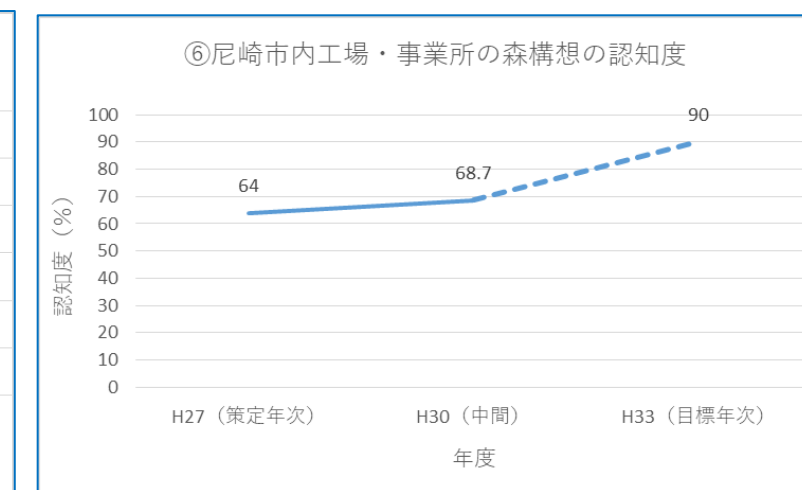
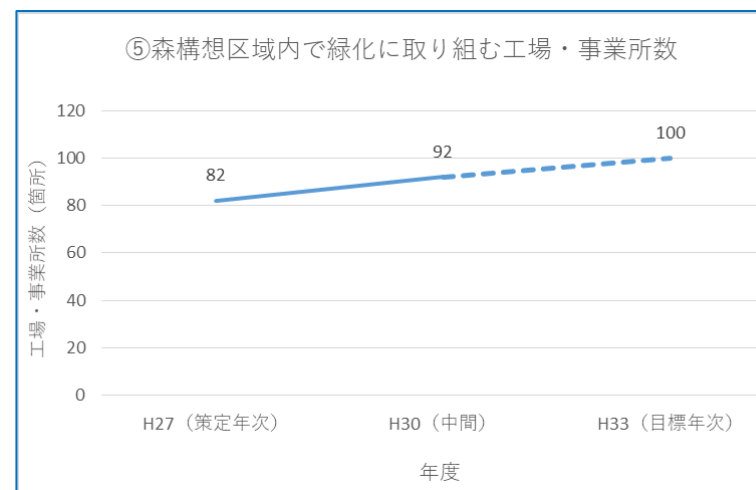
⑤森構想区域内で緑化に取り組む工場・事業所数 (累計)

年度	H27 (策定年次)	H30 (中間)	H33 (目標年次)
工場・事業所数	82	92	100

⑥尼崎市内工場・事業所の森構想の認知度

年度	H27 (策定年次)	H30 (中間)	H33 (目標年次)
認知度 (%)	64※	68.7	90

※参考数値：構想エリア内企業の認知度 (H29 工場緑化アンケート結果より)



4 多様な主体による推進に向けた取組

【進捗状況をはかるための指標】

⑦尼崎 21 世紀の森ウェブマガジンへのアクセス数

年度	H27 (策定年次)	H30 (中間)	H33 (目標年次)
アクセス数 (件)	19,000	24,000	25,000

⑧県民の森構想の認知度

年度	H27 (策定年次)	H30 (中間)	H33 (目標年次)
認知度 (%)	31		50

